

事業所名	グループホーム 福治の里
日付	平成20年3月19日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士 介護支援専門員・介護福祉士・認知症ケア専門士
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!)	※

1. 評価結果の概要

<p>講評</p> <p>全体を通して（特に良いと思われる点など）</p> <p>広い敷地に建てられた、モダンな平屋造りで、家庭的な住みなれた自然の環境、その上広い菜園・花壇も自立生活を営み、桜並木である広い外周りの空間は散歩コースであり、四季を感じさせる快適な住宅空間である。</p> <p>社会福祉法人の母体であり、特別養護老人ホーム、訪問介護事業と併設しており、介護従事者にとって相互の交流が出来る、職員の質の向上に取り組み、例として介護保険制度をはじめ、知識・技術・研修・自己研鑽と積極的に取り組んでいる様子が窺えました。</p> <p>介護理念に、「笑顔と楽しみある心地よい生活・家族・地域の人々とのふれあいをしていただきます」とある様に、広い集合空間において、入居利用者さんと、管理者・介護職員がその人その人の人格を尊重した統一的支援が図られている。</p> <p>（地域に方から農作物の特産もあり、何することもなく、役割担当、分担が出来ており、季節食材の旬野菜が暖かな雰囲気をつくりだされている。）</p> <p>（家族の方の声⇒手作り料理は季節感ある盛り付け、調理方法で本人が大変喜び食欲も進んでいるとの感想があります。）</p> <p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>地域との交流、自治会加入も出来積極的に取り組んでおられますが、町内よりお誘いの機会に、今後も意見を活かした取り組みを図って欲しい。</p>

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>入居者の方が笑顔と楽しみがあり、安心して生活でき、ニーズに柔軟に応じている。お互いに人を思いやり、人として尊敬を大切に尊敬し添う介護。自然とのふれあいを大切に健やかな生活が出来るように日々取り組んでいる様子がうかがえます。</p> <p>施設（法人）全体の運営方針であるテーマ『緑温絆笑』を掲げて全職員の質向上に努めている。</p> <p>[緑あって出会い、温もりをもって接し、お互いの絆が深まり、笑顔が生まれる福治の里]</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>ユニット毎に特色があり、今までの生活で馴染みの生活用品を自室へ持ち込み、季節感・生活感・懐かしさを感じられる場所の配置に配慮している。</p> <p>食事時、音楽の好きな人が多いので優しいメロディを流す配慮等落ち着いた生活の場づくりの取り組みがうかがえる。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人のできることに配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>出来る事を探し、出来る事を見つけ、役割をもって頂くことにより、生きがいを感じて頂けるよう、画一的なスケジュールを作らず、個人のリズム、プライバシーの尊重を重視した取り組みを目標とする。</p> <p>（入浴は1人1人の対応、トイレ排泄時の心遣いを大切に）</p> <p>食事の準備、野菜の処理、調理の下ごしらえ、味付け等個々の出来る事を見出し、自然に役割をもって、スタッフと一緒に楽しみを見つける。（掃除、畑仕事、草取り、種まき）</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>問題点の共有、ユニットごとのカンファレンス、再発防止策の検討、決定事項の周知徹底に努めている。対応の仕方などの勉強会、研修資料の回覧、ヒヤリハット報告書による事故防止対策検討会等、自己研鑽も取り入れた職員全体の質向上意識が窺えます。</p>		